



嘉藤 均議員

児童館の建設計画は

町長 関係機関と協議を進め、
令和5年度に建設予定

Q

深川町長の選挙公約や、6月定例会での町政執行方針の中でも児童館を建設するよう検討を進めたいとのことでした。また、第6次置戸町総合計画の実施計画でも放課後児童クラブ施設整備として、令和3年度実施設計、令和4年度施行とあります。今後の具体策やスケジュールを町長に伺います。

A

放課後児童クラブくるみの会についてですが、今年度当初の登録者数は68名と置戸小学校の7割ぐらいの生徒が登録をしております。1日の平均利用者は25名から30名程度で新型コロナウイルス感染症予防策として中央公民館などを利用しながら分散開設をしているところです。本町の児童数は開設当時よりも大幅に減少しておりますが、この留守家庭児童会利用者は減少せず、増加傾向にあります。

開設から52年が経過しておりますが、国全体としても人口減少や少子高齢化対策、家

族形態の変化、母親の社会進出や就労の多様化など子どもたちを取り巻く環境が大きく変化する中で、子育て支援サービスに対するニーズも多様化し、放課後児童クラブの利用も高まっております。第6次置戸町総合計画や第二期置戸町子ども・子育て支援事業計画の中でも改修についての計画を定め、令和3年度実施設計、令和4年度施行となっております。

現在の放課後児童クラブでは入会対象者が小学生に限られており、入会した者しか利用できない制度となっておりますが、児童館は自由に遊びに来る児童や中学生、高校生も対象となるような施設を考えております。児童館の種別として、大型児童館、小型児童館、児童センターがあり、大型児童館については広域的な利活用を対象とするもので、本町においては小型児童館もしくは児童センターになると思います。小型児童館は子ども会や母親クラブなど、地域に根付いた組織活動の育成等も

図る総合的な機能を持ち、児童センターは小型児童館の機能に加え、運動や遊びを通じ、子どもたちの体力増進や年長児童の育成に合わせた指導機能なども持ち合わせるもので、現在の放課後児童クラブについても包含するような形で設置を考えております。

現状の計画からは機能を拡大し、再検討する必要があること、利用者から、利用者の状況把握や現

利用者の保護者や子どもたち、アンケート調査を開始しておりますが、その方々のニーズ調査をはじめ、先進地の視察や建設場所の選定、改築や新築計画等に向け、早急に取り組んでまいりたいと思います。

現実的な進め方としては、



▲放課後児童クラブくるみの会

くるみの会職員や社会教育課及び地域福祉センター、施設整備課等の連携、子ども子育て会議等での協議を進め、令和3年度基本設計、翌年度実施設計を行い、令和5年度建設という1年遅れの計画を考えております。将来にわたって子どもたちが「置戸で育つてよかった」と思えるような児童館を建設していきたいと思っております。



高谷 勲議員

ジャガイモシストセンチュウの発生に伴う町の対策は

町長 関係機関と連携し、拡散防止に努めます

Q 置戸町のジャガイモシストセンチュウは平成23年に第1号の発生があり、その後は確認されていませんでしたが、7月9日に実施した種子馬鈴薯防疫検査で1圃場から発見されました。

近隣の馬鈴薯生産農家へのまん延は確認されておりませんが、町として今後どのような対策が必要か伺います。

A ジャガイモシストセンチュウの発見を受け、

町では関係機関と連携して置戸町ジャガイモシストセンチュウ対策本部を設置し、発生状況や緊急的な対応、まん延防止対策について協議を行い決定したところです。その後、実働部隊である第1回対策協議会を開催し、具体策の検討、農業者や生産者部会への対応を図っているところです。

第1次の発生から発生字区内で種子馬鈴薯の全筆の土壌検診を実施したところ、1圃場で新たに確認されました。2例目となることから町内の草地を除く全作物の土壌検診

を実施、収穫期を迎えた小麦のコンバインの移動時における洗浄など早急の対策を実施しております。発生圃場については、作業機や車両等の洗浄の徹底、収穫物等に付着した土を場外に持ち出さない対策を講じており、発生圃場の周辺は立入禁止の看板設置や圃場を分離する等の対策を行っております。

今後の対策につきましては、重点対策地域、発生圃場のある地域の設定を行いながら拡散防止対策を講じるとともに、新たな発生を防ぐためオホーツク総合振興局等の関係機関と連携しながら拡散防止に努めてまいりたいと思います。



▲畑への進入禁止看板

勝山ふれあい農園の今後の活用方法は

町長

地域住民などの知恵をいただき
振興策を

Q 勝山ふれあい農園は利用者が少ない状況であり、本来の農園としての役割を十分果たしているとは言えません。現在新型コロナウイルス感染症の発生により、国民のレジャーに対する考え方が大きく様変わりをしている中、人との密なる状態を避けてレジャーを楽しむためのキャンプなどのアウトドアが非常に盛んになっております。勝山温泉ゆうゆ周辺の活用方法として、この機会にふれあい農園の新たなキャンプ場への検討について町長の考えを伺います。

おります。

コロナ禍の中で濃厚接触を避けてレジャーを楽しむため、キャンプ場などは非常に人気と報道されているところです。この農園は農地法等の特例に関する法律により農業関連施設以外への転用は認められない農地となっております。そこで市民農園としての目的を逸脱しない中で勝山温泉ゆうゆとの相乗効果を上げていく活用を模索したいと思っております。また、農村公園やその周辺でレジャーを楽しんでもらえるような施設展開や野外施設などの整備についても将来的に検討を進めることが大事だと思っております。

A 勝山ふれあい農園は農業者以外の町民が野菜などの栽培を通じ、自然に触れ合うとともに農業に対する理解を深めることを目的として平成11年にスタートしましたが、年々利用者は減少して

町民の宝であります勝山温泉ゆうゆを核とした周辺整備は、社団の社員をはじめ、勝山地域の皆さまの知恵をいただきたいと思っております。



石井伸二議員

役場庁舎及び特別養護老人ホームの改修・修繕計画は

町長 財源確保も含めて
計画的に整備を図ります

Q 役場庁舎や特別養護老人ホームの改築・修繕の基本的な考え方を伺います。昨今の気象状況等を見ると、2施設の職場環境の応急的な改善が急務と考えます。

本庁舎には網戸がついておらず、特別養護老人ホームは経年劣化が激しい状況です。職員や利用者のために対応する考えはないか伺います。

A 現在の役場庁舎は昭和43年7月に完成し、52

年が経過しております。平成3年には1億4000万円かけて町民生活課のフロアの増築も含め大改修しております。その後も屋根改修や壁面の塗装など行っており、現在に至っておりますが、平成26年耐震診断では新基準に適合せず公共施設の中では最後の未改修施設となっております。

第6次総合計画では耐震化と災害本部の機能強化や2階3階へのエレベーターの設置等、事業費で概算4億7000万円と見込んでおります。災害時に役場の基幹業務の継

続計画を求められており、災害を受けても業務を停滞しないようにとの国からの要請もあります。また、72時間の電気供給ができるようにとの自家発電設備を屋上に設置するよう指針も示されております。現計画では令和4年度に改修工事となっておりますが、現庁舎の大規模改修はコストが非常に高騰するのではないかと途中で、新たに建て替えた場合の財源や将来のランニングコストを再度検討してみたいと思っております。

このようなことから、本年度の耐震改修の基本設計は見送り、令和3年度の新過疎法の制定に併せて交付税措置等の財源を考えながら、総合計画にとられず検討していきたいと思っております。

特別養護老人ホームについては以前から数年検討されてきておりますが、昭和57年から38年が経過しております。入所定員50名に加え、その後シヨートステイ10床を増加し、平成25年度より養護老人ホームと併せて社会福祉協議会の

指定管理により運営されております。第5次総合計画では全個室ユニット化の建て替えで総事業費14億円と当時試算されておりますが、財源の見通しがつかず見送りされ、第6次総合計画に繰り延べされております。この6次計画では令和4年度実施計画、令和5年度改修計画となっておりますが、現段階においても全個室ユニット型での財源見通しは難しくユニット化による職員増員の人材確保、防災機能の充実等課題が多いことから社会福祉協議会と十分協議し改修計画を進めていきたいと思っております。

職場環境の改善策や利用者が快適に利用できる環境の整備ですが、今年の夏についてはコロナ対策ということもあり、庁舎をはじめ各施設に扇風機を導入しております。役場庁舎では1階の窓口に扇風機を設置し、換気対策に努めてきました。

職場の環境整備ですが、置戸町職員衛生管理規則に基づいて設置しております、衛生

委員会の中で協議検討をし、職場環境の改善を図っております。

社会福祉施設につきましては、毎年社会福祉協議会の要望を受けて順次改善・改修を行っております。

本年度は職員トイレの改修や業務用電源の設備を整備しているところでありますが、職場環境や利用者のための環境整備については全部の要望には応えられませんが、これからも優先順位をつけて社会福祉協議会とも十分協議しながら改善を図ってまいりたいと思っております。

◀ 52年が経過した役場庁舎



ふるさと就職奨学金の創設時期は

町長

制度設計や議論に時間を設け、実現を図りたい

Q 深川町長は選挙期間中にふるさと就職奨学金の創設を町長の公約として掲げていました。

創設に向けた時期や財源等について町長の考えを伺います。

A ふるさと就職奨学金ですが、6月定例議会冒頭において私の町政に対する所信の中で、高齢者施設や児童福祉施設において人材不足が深刻になっているため、保育士等を含めた人材確保に向けたふるさと就職奨学金創設について検討を進めたいと申し上げました。

医療福祉職場においては専門性を問われ、児童福祉施設においても保育士など有資格者でなければできない業務も多く人材確保に大変苦労している状況を理解しております。置戸高校生限定の福祉の夢

サポート奨学金はこれまでの実績で9名の方が支給を受けております。こどもセンターどんぐりにおいても昨年度より保育士等確保のために就職祝い金や奨学金返済支援制度などを実施しており、置戸赤十字病院では償還免除の奨学金制度を設けております。

広く資格を有する優秀な人材を確保するため、経済支援だけではなく総合的な新しい制度の創設が必要と考えております。置戸に住んでみたい、勤めてみたいということを各産業それぞれ行うのではなく、一本化をしてPR活動や政策を考えていきたいと考えております。時期については新しい取り組みでもあり、すでにある独自の制度との整合性を取る必要もありますので、制度設計や議論に少し時間をいただき実現を図っていききたいと思えます。

町内への防犯カメラ設置の考えは

町長

防犯カメラの増設は見合わせ、共助の精神で住みやすいまちづくりを

Q 安全なまちづくりのために防犯カメラの設置と設置補助等について、訓子府町ではすでに3基の防犯カメラが設置され、警察との映像提供の調印をしております。置戸町では公用車にドライブレコーダー等を搭載し、もの時のために備えておりますが、人口減の本町において防犯や防犯予防のために防犯カメラの設置や設置のための補助等について、今の時代に必要だと思えますが町長の考えを伺います。

度まで37台に設置する予定をしております。防犯カメラについては、小学校、若者交流センター、コミュニティホールぽっぽに施設内防犯の観点から設置しております。また、他の施設ではダミーカメラ設置やステッカーで防犯に役立てているという事例もあります。

最近では道道置戸訓子府線の特定の場合で再三のゴミの不法投棄があり、道路管理者である北海道網走建設管理部で防犯カメラを設置しております。

防犯カメラは犯罪の抑制や事件の場合の手がかり、災害時の状況を知るためのツールになりますが、便利な反面、ネットへの情報流出やプライバシーの確保など多くの課題があることも事実です。

新たな公共施設への設置は利用される方へのプライバシー

シーに十分配慮する必要があることから増設の考えは今のところありません。

町内会や店舗からの設置要望があれば美しい商店街奨励金の補助対象に入れるかなど関係機関とも十分協議していきたいと思えます。

子どもから高齢者まで安心して暮らせる町は、気心が知れた近所付き合いや通学する子どもたちに気楽に挨拶できる町であると思えます。共助の精神で住みやすいまちをつくるために必要な財源措置は十分講じたいと思えますので、防犯カメラの増設については見合わせることをご理解いただきたいと思います。



▲ぽっぽに設置されている防犯カメラ

委員会の活動状況

令和2年8月下旬から
令和2年10月中旬まで

議会運営委員会

【8月25日】

▽議員協議会の開催依頼につ
いて (町長提案)

【9月1日】

▽第7回置戸町議会定例会の
運営等について

【9月8日】

▽第7回置戸町議会定例会の
運営等について

総務常任委員会

【9月2日】

▽作況調査について

【9月17日】

▽簡水下水道事業について
(料金改定効果・起債償還
計画・公会計への移行状
況)

▽置戸事業組合の経営状況に
ついて (貸与車両・建設機
械状況・オペレーター・直
営事業との作業分担)

▽新型コロナウイルスによる
授業への影響と対応につ
いて

▽置戸高校への新たな支援対
策と生徒募集について

【10月3日】

▽町内行政調査について

【10月15日】

▽移住・定住の取り組みにつ
いて (空き家を活用した住
環境整備、ネット環境整備
情報発信方法など)

▽第5次総合計画の達成状況
の検証について

▽定住自立圏構想の進捗状況
について

▽今後の財政事情について
(起債償還計画・使用料手数
料等の見直し)

議員協議会

【8月25日】

▽議員協議会の開催依頼につ
いて (町長提案)

【9月8日】

▽第7回置戸町議会定例会の
運営について

決算審査特別委員会

【9月8日】

▽委員長の互選について

▽副委員長の互選について

▽委員席の指定について

議会広報特別委員会

【10月2日】

▽議会広報第195号のクリ
ニックと第196号の編集
について

編集後記

20年続いた井上町政が
深川町政にバトンタッチさ
れて2回目の定例議会が終
了いたしました。心なしか
落ち着きが出て声のトーン
も少し下がってきたように
感じました。新型コロナウイルス
感染症の影響により
様々な事業が中止や延期と
なり、町長の公務にも支障
をきたす状況ではあります
が今後のご活躍を期待した
と思います。

今回の議会において3期
12年の長きにわたり行政の
監視役を務めてこられた本
間 靖洋代表監査委員が退
任され、小鷹 浩昭代表監
査委員の選任案件がありま
した。長年にわたり町の監
視役として務めてこられた
本間 靖洋代表監査委員に
はこれまでのご苦労に心よ
り感謝を申し上げたいと思
います。小鷹 浩昭代表監
査委員にはこれまでの行政
マンとしての経験を活かし
町の監視役としてのご活躍
を期待いたします。

(高倉 勲)

議会を傍聴してみませんか？

議会の動きをあなたの目と耳で！！

- ◇ 定例会は、3月・6月・9月・12月の4回開かれます。
- ◇ 臨時会は、必要の都度開かれます。
- ◇ ホームページ <http://www.town.oketo.hokkaido.jp>